

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。
この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院
で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の画像を使用します。
研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている検査の画像を利用して
ほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など
研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	全身用新型半導体 SPECT/CT における AI を用いた 脳血流ノーマルデータベースの構築
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の 提供を行う 研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	放射線科 准教授 川口直人
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日
対象となる方	2012 年 4 月から 2024 年 10 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち 脳血流シンチ検査 (123I-IMP) をうけた患者さん
利用する試料・ 情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血 液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	2023 年 4 月に当院に導入された新型半導体 SPECT/CT では脳血流シンチにお ける正常なノーマルデータベースがありません。今回の研究の目的は、これまで に撮像した脳血流シンチの画像を使って、AI での画像生成技術を用いて、新型 SPECT/CT における脳血流シンチのノーマルデータベースを作成すること です。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直 接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたし ます。患者さんを特定するための情報 (対応表) は、院内で個人情報管理者が厳 重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新た な研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されて

	から利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院放射線科 川口直人 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5371